

花 栗 村 本村古時 赤山領二属ス

風土記ヲ按スルニ、江戸ヨリ 1 行程 5 里余、民戸 3 0 余、地域ニ犬牙セル故ニ丁数ヲ云カタシ、段別 4 1 町一段余ノ地ナリ、用水は見沼代用水ヲ引ケリ元和年中伊奈半十郎ニ賜ヒシカ、何ノ頃カ一族伊奈某二分 4 賜ハリ、今八其ノ子孫、幸之助ガ知行所ナリ

疆^{きょう} 域^{いき}

東八太郎友衛門新田飛地ト耕地ヲ錯工、北草加村ト伝右川及畦畔ヲ界シ、南草加村ト耕地ヲ交錯シ、南八立野村ト道路小溝及畛畔ヲ限り、西ハ大升、原ニ村ノ飛地ト犬牙シ、北八峯村、本郷村飛地及庄左衛門新田ト伝右川戒畦畔以テ界ス

幅 員 東西 7 町 1 8 間南北 9 町 2 間

管轄沿革 天正ノ末徳川氏ノ有二掃シ、元和年中伊奈半十郎ノ平地ニ賜ツ(高 379 石,35) 後子、何ノ頃カ末家伊奈某ニ賜ヒ子孫世襲ス。明治元年戊辰(378 石 961) 武蔵知県事に属シ、2 年己巳小管県ニ轉ジ 4 年振幸末埼玉県ノ管スル所ナル

字 地 東、中島、流、丁張

戸 数 本籍 3 3 戸、平民、社 1 戸(村社)、寺 1 戸(新義真言宗)
人口: 男 1 0 7 人、女 1 0 5 人

牛 馬 牡馬 3 頭

神 社 稻荷社 村社 社地堅 1 7 間、横 9 間、1 5 3 坪村ノ西方ニ
アリ保食命^{うけもちのかみ}ヲ祭ル、祭日 2 月初午、6 月 1 5 日、9 月 1 9 日

仏 寺 南光院 堅 4 0 間、横 3 0 間、1 2 0 0 坪村ノ西ニアリ新義真言宗原村東光寺の末派ナリ

物 産 米 1 3 4 石 9 5、内 1 8 石、3 5 輸出、大豆 8 石粟 1 石、藍
1 5 0 貫輸出、筵^{むしろ} 6 0 0 枚輸出、草鞋^{わらじ} 2 0 0 束

民 業 男女耕作ヲ専トシ、農隙ニ八織筵等ヲ業トス

昭和 4 5 年頃都内から連続する市街地がじりじりと拡大し草加市街地にも水田から宅地への土地利用の変化が東武鉄道に沿ってみられた。国道 4 号線を原料製品輸送路とした事業所の進出により、草加、八潮工業団地が出来て、又松原団地など大規模住宅団地の建設もこの時期で、それをきっかけに宅地化が進んでいった。

タンポポ レンゲ

東武鉄道開通 明治32年 昭和2年10月電化
草加宿は日光山、及び奥州街道の宿駅にして南草加、北草加、
吉笹原、原島、立野、弥惣右衛門新田、与左衛門新田、谷古
宇、宿篠葉の九村を宿組としこれを合せて草加宿と唱へり
昭和47年4月1日開校 学級数17学級、生徒661名、
身障害児学級3、言語学級1（平成元年度）
現校長 斉藤 完

学校教育目標

1、よく考える子（知）2、思いやりある子（徳）3、体をきたえる子（体）

・重点目標 基本的生活習慣の育成

1、礼を正す 2、時を守る 3、場を清める

昭和45年11月 人口約12万人 市長 池田岩松

1970年 11月15日市議選

30人当選 新井義春42才 今井 宏29才 鈴木善吉60才

1971年 2月14日 市長選 黒沢春雄当選

1971年 (仮称)花栗南小学校 10月当時学童の急増に伴い、少しでも学校
難を解消しようと、総事業費5億7千8百万円の予算、着工

一部4階建て（当時市内で初めての4階建て）屋上では体育の授業が出来る。

1974年 4月開校 昭和47年5月に草加市人口13万54人

校章のいわれ 南国の夜空に輝く南十字星のあたたかさと、生きとし生ける
ものの歡喜につつまれた17の栗の花弁、すなわち開設当時の17学級はいつで
も上部をあけて後から来る新しい仲間を迎え入れようとしている。このあたたか
なそして全てを仲間として輪をつくる広場に無限の可能性を内にたたえたる子供
達が集う。

作成者：芦 沢 静 栄